

三条商工会議所景況調査概況

【令和5年1月～3月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」(早期景気観測調査<LOBO調査>)を毎月集計した令和5年3月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：<全国>全国 327 商工会議所が 2,503 企業にヒアリング。回答数 1,982 件
<三条地域>会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 235 件
- DI値＝(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)
従業員DIは(不足とする回答割合)－(過剰とする回答割合)

【全国の業況】

3月の全産業合計の業況DIは、▲14.8(前月比+4.6ポイント)

サービス業では、マスク着用ルール緩和による消費者意識の変化で、客足が回復した飲食・宿泊業を中心に改善した。小売業では、インバウンド需要の増加により売上が堅調な百貨店を中心に改善した。建設業でも、需要が増加する住宅関連の民間工事に下支えされ、改善した。一方、製造業では、電子部品関連の外需減退で横ばいに留まり、卸売業では、製造業関連の引き合い減少に加え、保管料等のコスト増も重なり、悪化となった。原材料・エネルギー価格の高騰等によるコスト増や人手不足、度重なる仕入価格の上昇に価格転嫁が十分に行えていない等、経営課題は山積するも、経済活動は回復が進み、中小企業の業況は改善した。

先行き見通しDIは、▲16.3(今月比▲1.5ポイント)

経済活動の回復への期待感はある一方、業種を問わず原材料・エネルギー価格の高騰、人材確保に向けた賃上げ等によるさらなるコスト増が懸念される。また、海外経済の鈍化や人手不足による受注機会の損失で売上悪化も危惧される。政府の激変緩和措置はあるものの、度重なるコスト増に対する価格転嫁も十分に行えておらず、企業収益の圧迫が続いており、先行きは厳しい見方となっている。

全国の3月産業別業況

【建設業】

「人手不足対策として高齢化している技術者の若返りを図るため、企業説明会の実施やウェブサイトの更新、SNSを活用した新卒・中途採用を実施。また、生産性向上のため、現場と本社の連携による事務作業の効率化に着手し、従業員の待遇改善を図っている」(一般工事業)、「受注数は堅調に推移しているが、建築資材や人手不足で人件費が高騰しており、原価に見合う受注金額が確保できず、収益を圧迫している」(管工事業)

【製造業】

「コロナ禍を契機にネット通販事業を開始し、売上は堅調に推移している。一方で、ネット通販事業を開始している同業他社も増加してきており、他社との差別化を図ることで、安定した収益確保に努める」(健康食品製造業)、「海外からの受注が急激に減少しており、今後の受注増加も厳しい状況である。収益悪化を防ぐため、価格転嫁交渉を進める」(計量器測定器等製造業)

【卸売業】

「仕入価格の高騰が続いており、価格転嫁を進めているものの、全ての上昇コスト分を転嫁できていない。差額分を自社で負担している中で、電気料金、梱包資材の価格も上昇しており、収益を圧迫している。コロナ融資の返済も始まるため、資金計画を作成し、実行していく」（建築材料卸売業）、「海外からの受注数が減少しているものの、ベースアップを実施し、従業員のモチベーション向上に繋げた」（電気機械器具卸売業）

【小売業】

「インバウンド需要の増加により、売上は回復傾向にある。今後の安定的な収益確保に向けては、地域住民の取り込みが重要課題であるため、催事やイベント等を通じた販促活動に注力していく」（百貨店）、「コロナ禍も落ち着きを見せ、イベント等への客足も回復している。季節的に人の移動が旺盛になるため、需要の取り込みに努める」（日用品小売業）

【サービス業】

「インバウンド需要の回復に加え、消費者の意識の変化の見られ、少しずつ団体客の利用も増加。一方で、人手不足が深刻化しており、受注機会を逃してしまうケースも出てきている」（飲食店）、「仕入価格の上昇分についてサービス価格への転嫁を実施。今後の収益改善に向けて、事務作業の効率化による生産性向上を図っていく」（写真業）

【令和5年1月～3月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和3年度第4四半期(R4年1～3月)比(以後 前年同期比という)では▲26(前期差6ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲14(前期差1ポイント減)、製造業が▲31(前期差6ポイント減)、卸売業が▲48(前期差13ポイント減)、小売業が▲43(前期差4ポイント減)、サービス業が+13(前期差1ポイント減)となった。前回調査に比べ、全業種においてDI値は減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲14(前期差1ポイント減)、採算DIは▲18(前期差1ポイント減)、売上額DIは▲17(前期差7ポイント減)、従業員DIは▲14(前期差4ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲31(前期差6ポイント減)、採算DIは▲34(前期差12ポイント減)、売上額DIは▲11(前期差15ポイント減)、従業員DIは▲7(前期差12ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲48(前期差13ポイント減)、採算DIは▲33(前期差5ポイント減)、売上額DIは▲38(前期差12ポイント減)、従業員DIは▲20(前期差11ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも減少で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況DIは▲43(前期差4ポイント減)、採算DIは▲36(前期差±0ポイント)、売上額DIは▲36(前期差3ポイント増)、従業員DIは+4(前期差4ポイント増)となり、採算DIは横ばい。売上額DI、従業員DIは増加したが、業況DIは減少で推移した。

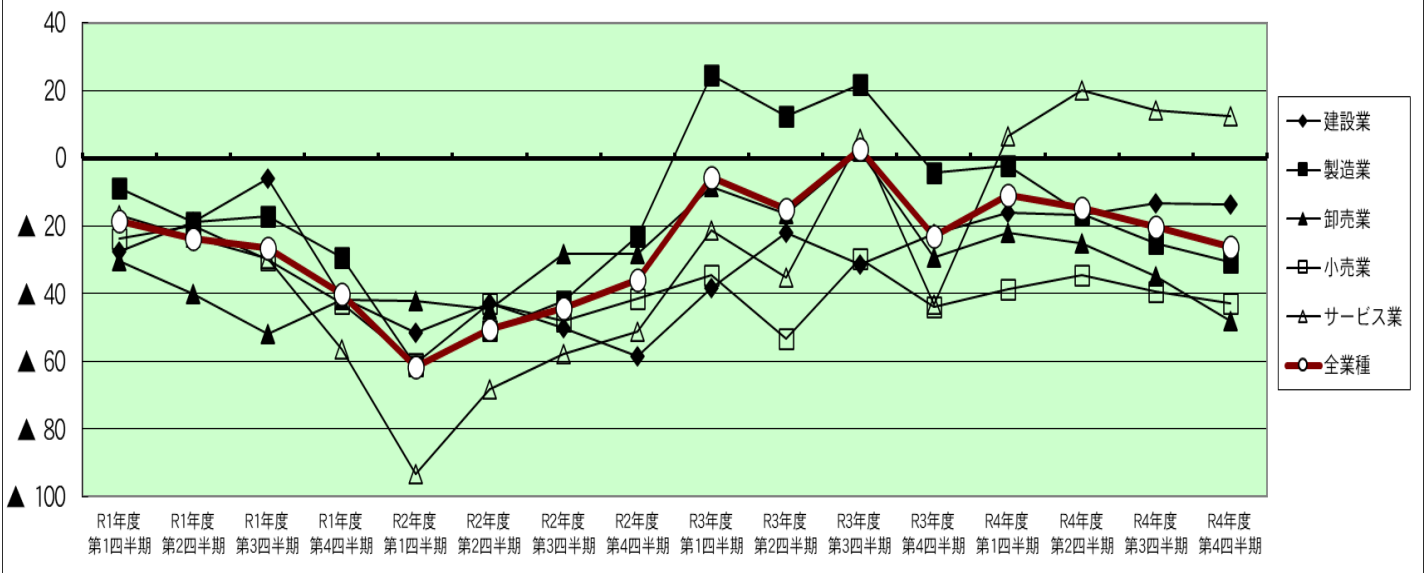
【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは+13(前期差1ポイント減)、採算DIは+5(前期差16ポイント減)、売上額DIは+20(前期差1ポイント増)、従業員DIは▲5(前期差±0ポイント)となり、従業員DIは横ばい。売上額DIは増加したが、業況DI、採算DIは減少で推移した。

三条地域の業況DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R1年度				R2年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
全業種	▲ 19	▲ 24	▲ 26	▲ 40	▲ 62	▲ 51	▲ 44	▲ 36
建設業	▲ 28	▲ 19	▲ 6	▲ 41	▲ 52	▲ 43	▲ 50	▲ 59
製造業	▲ 9	▲ 19	▲ 17	▲ 29	▲ 61	▲ 51	▲ 42	▲ 23
卸売業	▲ 30	▲ 40	▲ 52	▲ 42	▲ 42	▲ 44	▲ 28	▲ 28
小売業	▲ 24	▲ 20	▲ 30	▲ 43	▲ 61	▲ 43	▲ 48	▲ 41
サービス業	▲ 17	▲ 23	▲ 30	▲ 56	▲ 93	▲ 68	▲ 58	▲ 51
	R3年度				R4年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
全業種	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23	▲ 11	▲ 15	▲ 20	▲ 26
建設業	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22	▲ 16	▲ 17	▲ 13	▲ 14
製造業	25	12	22	▲ 4	▲ 2	▲ 16	▲ 25	▲ 31
卸売業	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29	▲ 22	▲ 25	▲ 35	▲ 48
小売業	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44	▲ 39	▲ 34	▲ 39	▲ 43
サービス業	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43	7	20	14	13

業況DI推移 (前年同期比)

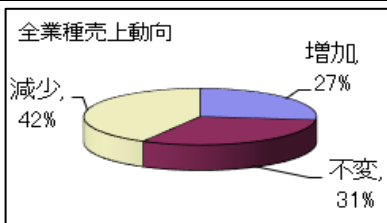


令和4年度 第4四半期(2023年1月～3月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

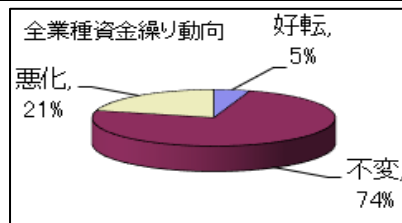
業種別売上動向 (前年同期比)

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	63	73	98
	%	27%	31%	42%
建設業	件数	8	8	13
	%	28%	28%	45%
製造業	件数	24	30	34
	%	27%	34%	39%
卸売業	件数	6	18	24
	%	13%	38%	50%
小売業	件数	5	8	15
	%	18%	29%	54%
サービス業	件数	20	9	12
	%	49%	22%	29%



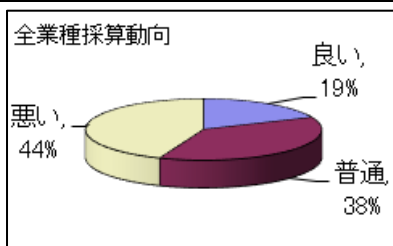
業種別資金繰り動向 (前年同期比)

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	11	170	48
	%	5%	74%	21%
建設業	件数	3	22	4
	%	10%	76%	14%
製造業	件数	6	60	21
	%	7%	69%	24%
卸売業	件数	0	39	8
	%	0%	83%	17%
小売業	件数	0	18	9
	%	0%	67%	33%
サービス業	件数	2	31	6
	%	5%	79%	15%



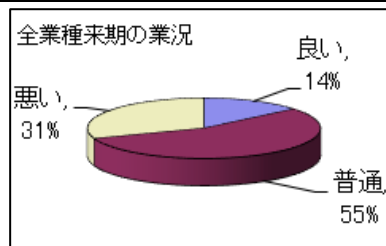
業種別採算動向 (前年同期比)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	43	87	102
	%	19%	38%	44%
建設業	件数	6	11	11
	%	21%	39%	39%
製造業	件数	12	34	42
	%	14%	39%	48%
卸売業	件数	6	20	22
	%	13%	42%	46%
小売業	件数	5	8	15
	%	18%	29%	54%
サービス業	件数	14	14	12
	%	35%	35%	30%



業種別来期(2023.4～6月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	27	107	59
	%	14%	55%	31%
建設業	件数	2	16	6
	%	8%	67%	25%
製造業	件数	11	37	27
	%	15%	49%	36%
卸売業	件数	4	23	13
	%	10%	58%	33%
小売業	件数	2	12	6
	%	10%	60%	30%
サービス業	件数	8	19	7
	%	24%	56%	21%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<https://www.sanjo-cci.or.jp>